

<第12回関東ホルモンと癌研究会 プログラム>

- ◆当番幹事：井上 聡（東京大学医学部附属病院 抗加齢医学講座）
事務局：堀江公仁子（埼玉医科大学ゲノム医学センター）、向後直子（東大病院）
- ◆開催場所：東京大学 山上会館 2F 大会議室
- ◆日時：平成24年1月21日（土）13:30～18:00
- ◆会費：1,000円
- ◆テーマ：「核内受容体とホルモン依存性癌」
- ◆構成：
 - 13:30-14:30 **特別講演 1**
座長： 東京大学大学院医学系研究科抗加齢医学講座 井上 聡
筑波大学 生命領域学際研究センター 柳澤 純 先生
性ステロイドホルモンと癌の新展開
 - 14:30-15:00 **ポスター発表**： 10題前後募集(研究奨励賞付き)201/202 会議室
 - 15:00-16:40 **シンポジウム**： ホルモン依存性癌の最新の話
座長： 帝京大学医学部附属病院泌尿器科 堀江 重郎 先生
京都大学大学院医学研究科標的治療腫瘍学講座 佐治 重衡 先生
 - 15:00- 順天堂大学産婦人科講座 加藤 聖子 先生
子宮体癌発生機構におけるエストロゲンシグナルの関与
 - 15:20- 京都大学医学研究科泌尿器科 井上 貴博 先生
去勢抵抗性前立腺がんへの変異機序に関する最近の話題
 - 15:40- 京都大学医学部附属病院外来化学療法部 石黒 洋 先生
乳癌症例を対象とした遺伝薬理学および薬物病態に基づいた内分
泌療法の可能性
 - 16:00- 東京大学医学部加齢医学講座 高山 賢一 先生
前立腺がんにおけるゲノムワイドでのAR 標的遺伝子の同定
 - 16:20- ラウンドディスカッション
 - 16:40-16:50 **コーヒーブレイク**
 - 16:50-17:50 **特別講演 2**
座長： 埼玉医科大学ゲノム医学研究センター 村松 正實 先生
カリフォルニア大学アーバイン校 Bruce Blumberg 先生
Mice lacking the steroid and xenobiotic receptor, SXR, develop B-1 cell
lymphoma and leukemia as a consequence of increased NF-kB activity
 - 17:50-18:00 **研究奨励賞授与、閉会の辞**
 - 18:00- **懇親会**： 1F 談話ホールで開催の予定
- ◆共催：関東ホルモンと癌研究会・ノバルティスファーマ株式会社